

平成21年度 第1回

新鳥栖地区定時制高校
設置準備委員会

日 時 平成21年4月30日(木)
15:00~17:00

場 所 鳥栖工業会館
(佐賀県立鳥栖工業高等学校同窓会館)

会順（目次）

	頁
開会	1
教育委員会挨拶	1
委員委嘱	1
委員長挨拶	1
協議事項	
1 鳥栖地区定時制再編の考え方について	2
2 めざす学校像(案)について	4
3 主要検討項目の考え方(案)について	6
4 その他	8
閉会	8
資料 鳥栖高校定時制・鳥栖工業高校定時制の概要	9
新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会検討スケジュール	10
新鳥栖地区定時制高校設置に向けた平成21年度検討体制	11
新高校設置準備委員会設置要領	12
新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会委員名簿	14

I 開式

II 教育委員会挨拶

III 委員委嘱

IV 委員長挨拶

V 協議

1 鳥栖地区定時制再編の考え方について

(1) 鳥栖地区定時制の再編計画

鳥栖高等学校定時制（普通科）と鳥栖工業高等学校定時制（機械・電気科）を再編統合し、学校の活性化や指導の充実を図ります。

実施時期	平成 23 年 4 月
校 地	鳥栖工業高等学校の校地
募集定員	80 人 ・普通科 40 人 ・機械・電気科 40 人
教育の特色	■ 国語、英語、数学における少人数指導の実施 （習熟度別指導、T T 授業） ■ 普通科、機械・電気科の相互に選択可能な科目の設置 ■ 進学指導、就職指導の充実

(2) 具体的に考えられる効果

習熟度別指導やT T 授業の実施

- ・ 国語、英語、数学の教員は複数配置できることから、生徒の進路希望や習熟度に対応した指導ができる。

多彩な選択教科・科目の設定

- ・ 両科の生徒の進路希望や興味・関心に応じた選択科目が設定できる。

例 工業科の科目

電気基礎(電気に関する基礎的技術)、情報技術基礎(ソフトウェア・プログラミングなど)、自動車工学(自動車の原理など)

普通科の科目

国語表現、英語、リーディング、数学、数学B、化学、生物

専門教科の科目

フードデザイン、発達と保育

学校設定科目

ワープロ、表計算 など

両科合同の授業の実施

- ・ 活動生徒が増えることで活力ある授業展開ができる。
例 体育、芸術(美術、書道)、家庭など

普通科生徒の資格取得を目指す講座の開設

- ・ 工業科は今までどおりであるが、普通科の生徒も希望者は資格取得が可能となる。
例 乙種四類危険物取扱者(ガソリンスタンドの責任者)、丙種危険物取扱者(ガソリンや灯油等の取扱者)、第二種電気工事士(屋内配線工事)、パソコン利用技術検定(ワープロ、表計算)など

ものづくり学習の推進

- ・ 「総合的な学習」の時間に、「ものづくり」をテーマとして取り組める。(旋盤、マシンングセンター、フードデザイン、芸術など)

学校の活力面の向上

- ・ 生徒同士の触れ合いや切磋琢磨の機会が増加する。
- ・ 部活動の設置数や活動生徒数が増加する。

2 めざす学校像(案)について

(1) 学校像の背景

現状

生徒像

- ・ 中学校時代に不登校や集団生活不適應等を経験した生徒や、経済的な理由による生徒が入学するケースがある。
- ・ 基礎学力がついていない生徒も多く、学力差がついている状況がある。
- ・ 普通科として間口が広いことで、目的意識が希薄の生徒もいる。
- ・ 全日制高校が不合格で、2次募集で合格する生徒が1/3～1/2程度いる。
- ・ 生徒は落ち着いており、生徒指導関係の問題が少ない。

進路指導関係

- ・ 生徒の進路意識を高める指導が十分ではない。
- ・ 就職をしなかったり、正社員の採用試験を避ける生徒がおり、就業意識の向上が必要である。
- ・ 進路指導や進学対応の補習が十分ではない。

生徒指導関係

- ・ 欠席、遅刻が多いなど基本的な生活習慣が身に付いていない生徒がいる。
- ・ 昼間は働いているため、通学に原付自転車、バイク、自動車を使用しており、交通事故にあうケースがあった。

平成20年度通学手段及び事故件数

	通学手段			事故件数		
	原付自転車	自動二輪	自動車	原付自転車	自動二輪	自転車
鳥栖工業	11		6	0		0
鳥栖	4	1	5	0	1	0

- ・ 服装は制服または高校生らしい服装(私服)を許可している(鳥栖工高)。女子の生徒の中には指導が必要な場合があるが、多くは高校生らしい服装をしている。
- ・ 家庭的に課題のある生徒もおり、栄養のバランスの上でも給食が重要な位置を占めている。

教育相談関係

- ・生徒理解面談を年 2 回実施して生徒の悩み、普段の生活、家庭の悩み事などの相談の時間としている。その他、前期の中間で三者面談や年 1 回（10 月）スクール・カウンセラーと職員との事例研究会（鳥栖工高）を実施している。
- ・年度初めの 4 月に個人面談を行い、年 3 回（7,10,12 月）三者面談を実施している。（鳥栖高）
- ・定時制は小規模なクラスによる授業であるため、不登校経験生徒も授業に参加しやすい状況にある。

（2）めざす学校像の基本的な考え方

基礎・基本から上級学校進学指導や就職指導など、多様な生徒のニーズに応じたきめ細かな指導の充実

工業高校に普通科と機械・電気科を併置するため、「ものづくり」を積極的に取り入れた教育の推進

進路意識高揚のため、4 年間を通じてのキャリア教育の充実

社会生活に必要な基本的な生活習慣、生活マナー、言葉遣いなどを身につけた社会人の育成

勤労と学業を両立させ、たくましく、前向きに、夢に挑戦できる学校

3 主要検討項目の考え方(案)について

(1) 教育内容

基礎学力の徹底及び作文力の向上

- ・ 英・数における習熟度別指導等の実施を検討する。
- ・ 読み、書きなどの国語の基礎力を充実させる。
- ・ 各種検定（日本語検定、実用英語技能検定、実用数学技能検定など）を活用した、学習への意欲の向上を図る。

進学・就職の双方を視野に入れた教育課程等の工夫

- ・ 学科、コースごとの専門性を伸ばすことを基本とし、幅広い知識や技能を学ぶことができる教育課程とする。
- ・ LHR等における計画的なキャリア教育を検討する。
- ・ 夏季休業中の特別指導（教科指導、資格取得の指導など）の実施を検討する。

「ものづくり」をテーマとした、選択科目や総合的な学習の時間の設定の検討

- ・ テーマにそって、普通科、工業科の枠を越えた教科の設定や選択をすることで、特色ある学校づくりをめざす。

(2) 施設・整備

職員室の拡張について

- ・ 職員数の増加により、現在の定時制職員室では増加分の机を配置できない。
〔現在の最大設置可能机数 24人分 平成26年度の職員数見込 31人分〕
- ・ 生徒の情報交換や教師間の連携を密にするために定時制全職員が一室に居ることが必要である。
- ・ 現定時制職員室の拡張を検討

使用教室数の増加への対応について

- ・ 新たに普通科の 4 教室を全日制との共用の教室として確保する。
- ・ 現在も教室は全日制と共用している。

【課題】

- ・ 女子更衣室、定時制用掲示板、個人ロッカーの設置など

給食施設について

- ・ 生徒数や職員数の増加により、現在の施設・設備では給食運営に支障が生じる。
 - ・ 第二次実施計画の鳥栖地区説明会の際、定時制の給食は生徒と教職員のコミュニケーションの場として大切であり、現在の温かくて栄養のバランスを考えた給食を維持して欲しいとの要望があった。
 - ・ 給食は職場での出来事や健康状態などを話すコミュニケーションの場としての役割は大きく、くつろげる時間と空間をつくることで、心身の健康を保ち修学意欲の向上につながる。
-
- ・ 現在の自校調理方式を維持する方向で検討
 - ・ 給食の運営の在り方について検討 など

【課題】

- ・ 新たな調理器具を設置した場合、厨房が狭くなることから、調理員の人員配置や効率的な器具使用など調理手順の工夫が必要
- ・ 生徒数等収容人数を超えた場合、給食時間を延長して生徒を入れ替えることなどの検討が必要
- ・ 鳥栖高校は、平成 23 年度以降生徒数が減少するため（平成 25 年度まで）給食運営について検討が必要

4 その他

VI 閉会

鳥栖高校定時制・鳥栖工業高校定時制の概要

入学者数、在籍者数の推移

年度	鳥栖						鳥栖工業					
	入学者数			在籍者数			入学者数			在籍者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H16	4	11	15	23	37	60	21	2	23	82	8	90
H17	11	16	27	23	51	74	24	2	26	82	6	88
H18	1	9	10	17	44	61	17	1	18	72	7	79
H19	4	12	16	20	45	65	13	5	18	63	10	73
H20	1	8	9	14	36	50	13	2	15	56	8	64
H21	4	14	18	16	39	55	12	1	13	47	7	54

卒業生の進路状況

【鳥栖高校】

卒業年月	卒業生		進 学			就職者	自営	その他
			大学	短大	各種・専門			
平成17年3月	男	9				1		8
	女	4						4
	計	13	0	0	0	1	0	12
平成18年3月	男	3	1					2
	女	11		1	1			9
	計	14	1	1	1	0	0	11
平成19年3月	男	2			1			1
	女	7	1			2		4
	計	9	1	0	1	2	0	5
平成20年3月	男	8	1			2	2	2
	女	5				1	1	3
	計	13	1	0	3	3	1	5
平成21年3月	男	5	1	1		2		1
	女	10	1			1	1	7
	計	15	2	1	1	3	0	8

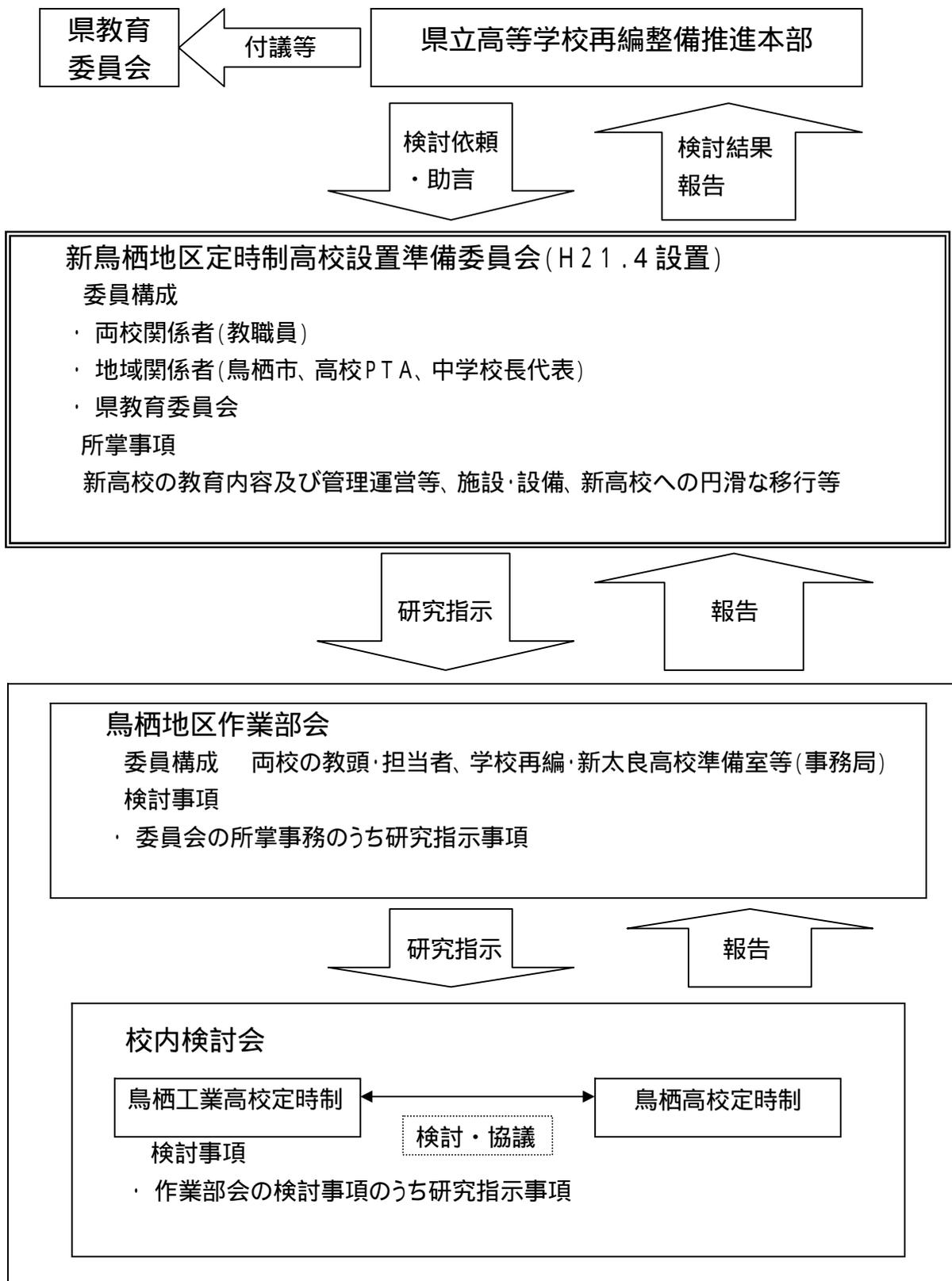
【鳥栖工業高校】

卒業年月	卒業生		進 学			就職者	自営	その他
			大学	短大	各種・専門			
平成17年3月	男	18				18		
	女	3			1	1		1
	計	21	0	0	1	19	0	1
平成18年3月	男	16				16		
	女	1						1
	計	17	0	0	0	16	0	1
平成19年3月	男	13			1	9		3
	女	1				1		
	計	14	0	0	1	10	0	3
平成20年3月	男	13			2	9	1	1
	女	0						
	計	13	0	0	2	9	1	1
平成21年3月	男	17			2	7		8
	女	2				1		1
	計	19	0	0	2	8	0	9

新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会検討スケジュール（案）

回	時 期	検討項目
第 1 回	H21.4 下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校像の考え方 ・ 検討に当たっての基本的考え方 (教育課程、相談・指導、特色ある学校づくり等) ・ 平成 2 1 年度検討体制、スケジュール
第 2 回	H21.7 下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育方針、教育目標 ・ 教育課程 (選択科目・学校設定科目、校時表等) ・ 生徒指導、部活動
第 3 回	H21.10 下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路指導 ・ 教育相談、保健指導 ・ 施設、設備関係
第 4 回	H21.12 下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務分掌、各種委員会
第 5 回	H22.3 下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体とりまとめ ・ 平成 2 2 年度検討体制、日程表

新鳥栖地区定時制高校設置に向けた平成21年度検討体制(案)



新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日

佐賀県教育委員会教育長決定

一部改正 平成17年4月 1日

一部改正 平成18年7月12日

一部改正 平成21年4月 1日

(設置)

第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。

- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
- 二 新高校の施設・設備に関すること
- 三 新高校への円滑な移行に関すること
- 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

(組織)

第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。

2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。

2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び学校再編・新太良高校準備室に置く。

(補 足)

第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表(第1条関係)

委 員 会 名	再 編 等 対 象 校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里商業高等学校、伊万里農林高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	佐賀農業高等学校、杵島商業高等学校
定通併置新高校 設置準備委員会	鳥栖高等学校、佐賀商業高等学校、佐賀北高等学校
商業定時新高校 設置準備委員会	唐津商業高等学校、伊万里商業高等学校
新太良高校 設置準備委員会	太良高等学校
新鳥栖地区定時制高校 設置準備委員会	鳥栖工業高等学校、鳥栖高等学校

新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会委員（平成21年4月）

No.	所属・職名	氏名	備考
1	鳥栖工業高等学校校長	大串 繁樹	委員長 鳥栖工業高校関係者
2	鳥栖工業高等学校教頭	山口 智啓	鳥栖工業高校関係者
3	鳥栖工業高等学校事務長	野口 茂実	
4	鳥栖高等学校校長	富松 九三男	副委員長 鳥栖高校関係者
5	鳥栖高等学校教頭	家永 國廣	鳥栖高校関係者
6	鳥栖工業高等学校PTA代表	橋本 照美	地元関係者
7	鳥栖高等学校PTA代表	村田 徹	
8	鳥栖市教育長	檜崎 光政	鳥栖市関係者
9	鳥栖市立基里中学校校長	三橋 早苗	中学校関係者
10	総務課長	伊東 博則	県教委関係者
11	教職員課長	中島 秀明	
12	教育政策課長	坂本 兼吾	
13	学校教育課長	平山 又一	
14	体育保健課長	塚原 康弘	
15	学校再編・新太良高校準備室長	峰 雅樹	
16	学校再編・新太良高校準備室参事	古賀 信孝	
事務局	鳥栖工業高校教諭	辻 雅也	
	学校再編・新太良高校準備室企画主査	上赤 真澄	